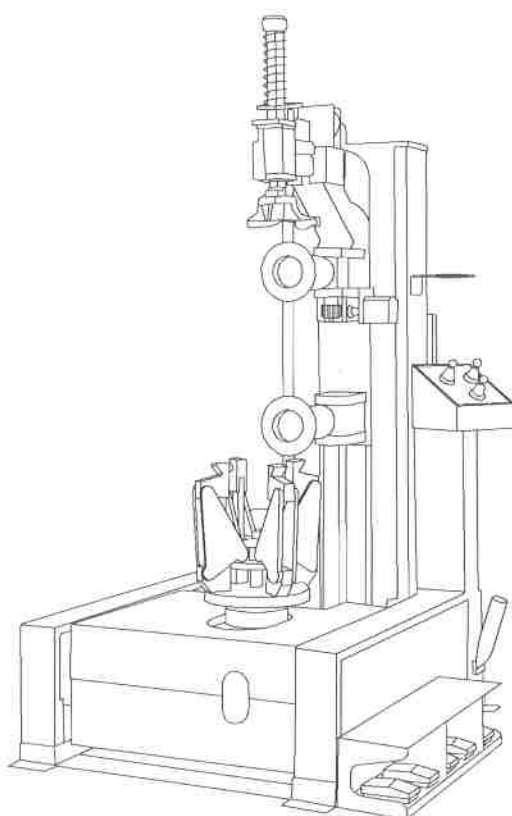


取扱説明書

LT TIRE CHANGER ダイナスター TL-1800型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。



警告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	1
(1) 一般的な注意事項	1
(2) 警告ラベル内容	2
(3) 設置上の注意	2
4. 各部の名称と機能	3
(1) 各部の名称と機能	3
(2) 電気回路図	4
(3) 油圧回路図	4
5. 取り扱い方法	5
(1) 始業点検	5
(2) 操作スイッチと各部の動作	5
(3) ホイールのドロップ位置	6
6. 操作手順	7
(1) ディマウント作業	7
(2) マウント作業	7
7. 定期点検	8
8. 故障と処置	9
9. 仕様	10
10. 製品保証規定	10
(1) 保証規定	10
(2) 保証請求方法	10
(3) アフターサービスについて	11
(4) 設置(据付)及び移設について	11

1. まえがき

この度は弊社のライトトラック専用タイヤチェンジャー「**ダイナスター TL-1800 型**」をお買上頂き誠に有難うございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用下さい。取扱説明書に記載されている注意事項および使用方法をよくご理解いただかないと本機の適正な能力を発揮できないばかりか、人身事故や車輛の損傷・落下及本機の損傷につながりますので、充分ご理解のうえ正しくご使用下さい。

なお、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に保管・貼付していただき、万一紛失、汚損された場合には速やかにご購入の上、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

本機は、ライトトラック用タイヤの交換作業を行うタイヤチェンジャーです。

3. 危険・警告・注意事項



警告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危険

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警告

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注意

……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 一般的な注意事項

- (1) 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
- (2) 本機をタイヤ交換作業以外の目的に使用しないでください。
- (3) 操作の訓練を受けた人以外は使用しないでください。
- (4) 安全靴・皮手袋等を使用し、長髪・ひも等の巻き込まれるものを着用しないでください。
- (5) 始業点検及定期点検は、取扱説明書の本文に従って、必ず実施してください。
- (6) 運転時に異音発生等、普段と異なる状態の時は本機の使用を禁止し、お買上げの販売会社に連絡して点検を受けて下さい。
- (7) 本機は防水仕様になっておりません。屋外設置や水による洗浄は行わないで下さい。

(2)警告ラベル内容



注 意

警告ラベルは大切に保管してください。万一紛失、汚損した場合は速やかに購入のうえ、正しく貼付してください。

警告ラベル内容

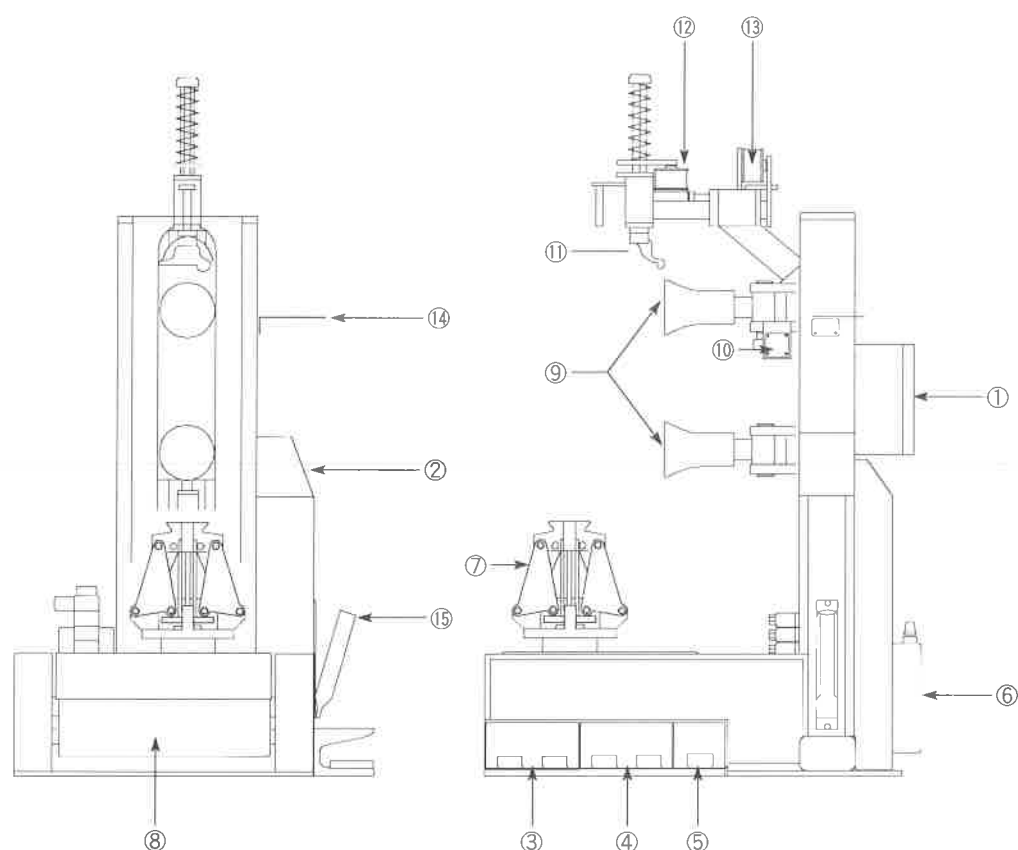
 警 告	
	
チャックを緩めるときは、必ずリフトまたはベースで受けること。 タイヤは手で押えて倒れないように支えること	作動中のチャック部には手を触れないこと。 挟まれて大怪我をする恐れがあります。
	
リフトまたはアーム下降時には下に足を入れないこと。 足などを挟まれて大ケガをする恐れがあります。	ビードクリーム塗布、回り止めの脱着時には必ずタイヤ回転を止めること。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。
	
機械にチャッキングしたまま、タイヤへのエア充填(注入)は絶対に行わないこと。 エア注入は安全ゲージの中で行ってください。	取扱説明書をよく読み理解してから使用すること。 誤操作により、思わぬ事故の可能性あります。
	ここに示す警告事項は、機械の取り扱い方法を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、大切に使用してください。はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。
操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 誤操作により、思わぬ事故の可能性あります。	

(3)設置上の注意

- (1)本機の制御ボックスには多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となりますので下記の様な場所は避けてください。
- (2)制御ボックス設置の際には、感電防止の為に必ずアース設置を施してください。
- (3)三相200Vの配線工事は必ず動力工事有資格者にご依頼ください。

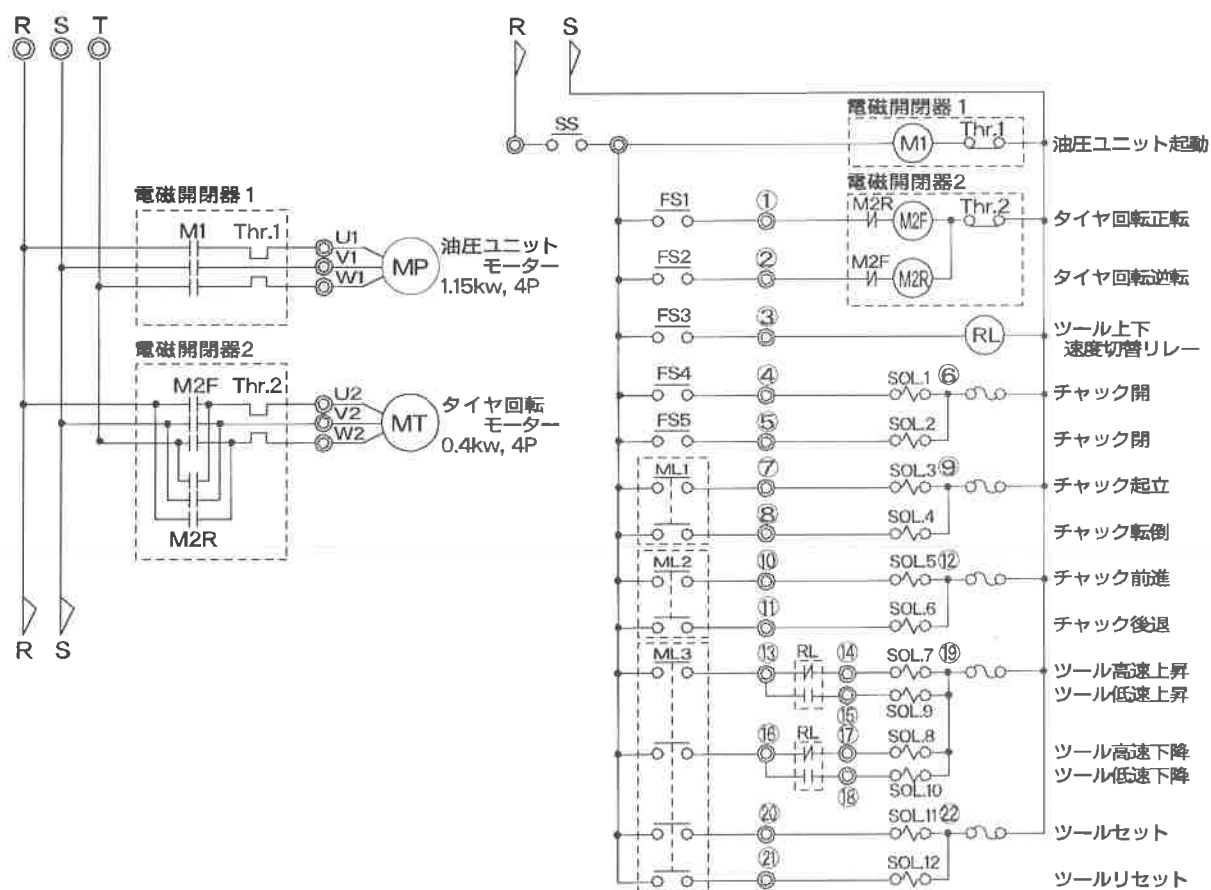
4. 各部の名称と機能

(1) 各部の名称と機能

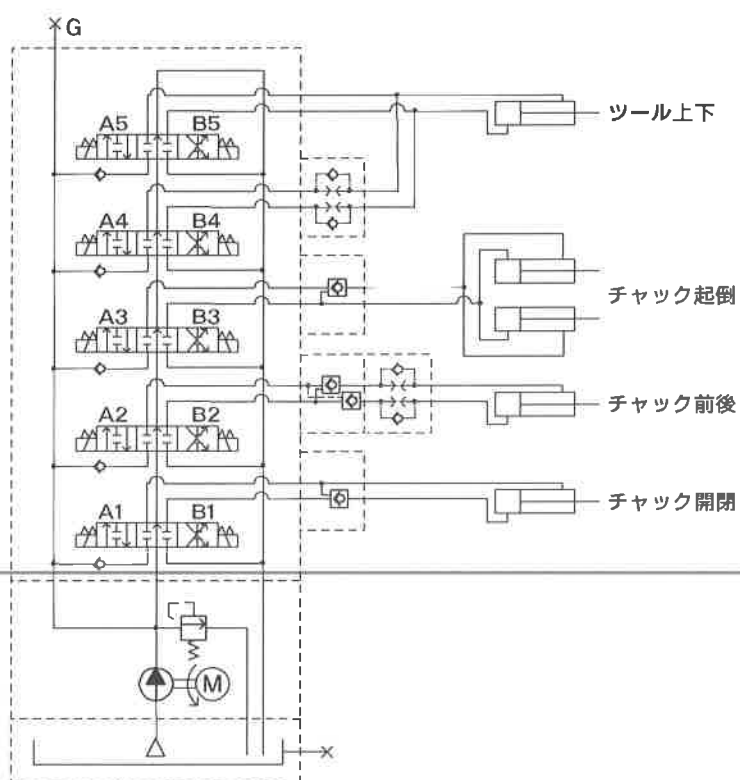


No.	名 称	機 能
①	制 御 ボ ッ ク ス	本体の制御電源部
②	操 作 パ ネ ル	ツール上下・チャック移動等の操作を行います
③	チャック開閉用フットペダル	チャックの開閉を行います
④	タイヤ回転用フットペダル	タイヤ回転の正転・逆転を行います
⑤	ツール上下変速用フットペダル	ツール上下の低速・高速移動切換を行います
⑥	油 圧 ユ ニ ッ ト	油圧発生装置
⑦	チ ャ ッ ク	先端のチャック爪によりホイールを固定します
⑧	チャック起倒テーブル	本機へタイヤホイールをセッティング時に起立・転倒を行います
⑨	ビードローラー	タイヤ脱着用ツール
⑩	ビードローラーリセットシリンダー	上側ビードローラーの逃がし用シリンダー
⑪	タ イ ヤ 爪	タイヤ脱着用ツール
⑫	垂 直 軸 ロックシリンダー	タイヤ爪垂直方向移動のロックシリンダー
⑬	水 平 軸 ロックシリンダー	タイヤ爪水平方向移動のロックシリンダー
⑭	ビードクリーム受け	ビードクリーム収納ケース
⑮	タ イ ヤ レ バ ー 受 け	タイヤレバー収納ケース

(2)電気回路図



(3)油圧回路図



5. 取り扱い方法

(1) 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

- ①チェンジャー本体に外観上の異常(変形、破損、摩耗等)はないか。
- ②各ボルト、ナット類の緩みはないか。
- ③油圧ユニット、油圧ホース、接続部、各シリンダに油漏れがないか。
- ④モーター(油圧ユニット、チャック部)が正常に作動するか。
- ⑤各操作(動作)部がスムーズに作動するか。

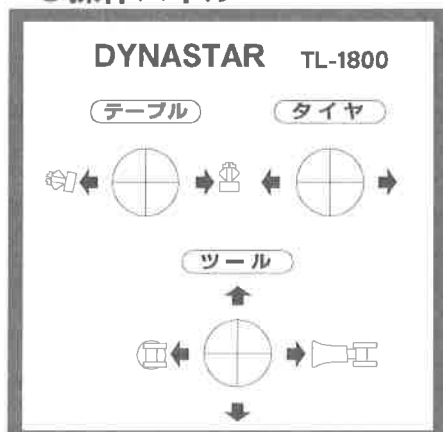


警告

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまではチェンジャー使用を禁止して、直ちにお買いあげの販売会社に連絡して下さい。そのままお使いになると本機の破損及重大事故につながる危険性があります。

(2) 操作スイッチと各部の動作

●操作パネル



(1) ツール(↑・↓)

ビードローラーの上昇(↑)・下降(↓)用モノレバースイッチです。

タイヤの脱着作業時に使用します。

(2) ツール(←・→)

上側ビードローラーのリセット(←)・セット(→)用モノレバースイッチです。

タイヤ爪使用時およびタイヤホイール排出時等に使用します。

(3) テーブル(←・→)

チャックテーブルの転倒(←)・起立(→)用モノレバースイッチです。

タイヤホイールのチャッキング作業時に使用します。



警告

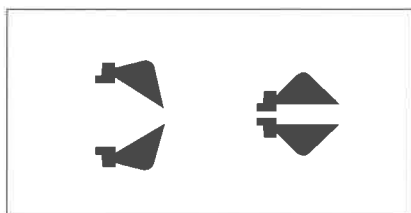
テーブルを転倒させる際、下側に足を入れないように注意してください。足を挟める恐れがあります。

(4) タイヤ(←・→)

チャックの後退(←)・前進(→)用モノレバースイッチです。

ホイールとビードローラーのクリアランス調整を行う際に使用します。

●フットペダル



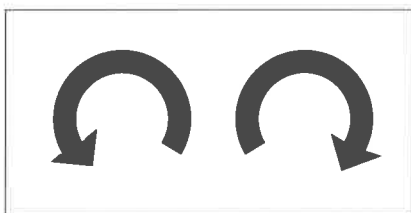
(1)チャック開閉用フットペダルです。

タイヤホイルのチャッキング時に使用します。



警告

- ホイルをチャッキングしたまま不用意にチャックをゆるめないでください。ホイルが落下し思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ホイルをチャッキングしたままで長時間放置しないで下さい。チャッキングが緩み思わぬ事故につながる恐れがあります。



(2)チャックの正転・逆転用フットペダルです。

タイヤの脱着作業時に使用します。



(3)ツール上下時の低速・高速移動の切換フットペダルです。

タイヤ爪セッティング等のツール上下動慎重作業時に使用します。

(3)ホイルのドロップ位置

乗用車用ホイルと同様、L S R用の一枚ホイル(チューブレス用ホイル)にはドロップ部があります。

タイヤホイルのチャッキングおよびタイヤ交換の場合は、必ずホイルドロップ位置を確認しドロップに近い方からビードの脱着を行って下さい。

6. 操作手順



警告

- タイヤ内のエアは必ず完全に抜いてからディマウント作業を行ってください。
- タイヤを機械にチャッキングした状態でのエア充填は絶対に行わないで下さい。必ず安全ケージの中でエア充填を行ってください。

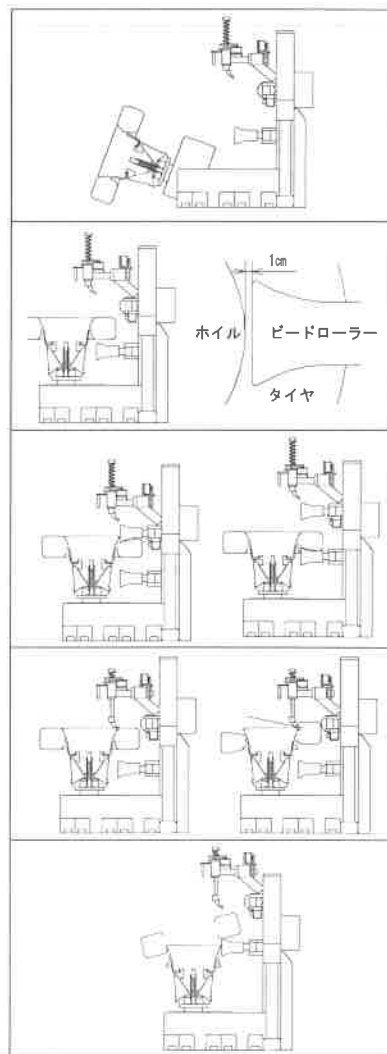


注意

- 電線の切断などによる単相運転にご注意下さい。本機は高効率ポンプユニット（モーター、ポンプ、電磁切替弁一体型）を使用しております。単相運転などでモーターを破損した場合、油圧ポンプユニット一式の交換が必要になります。

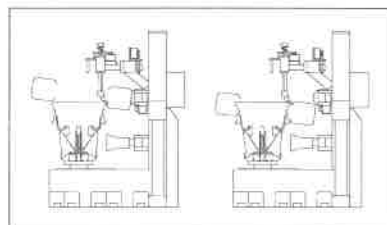
(1)ディマウント作業

- ①可動チャックテーブルが転倒している状態で、ホイールのハブ穴を4個の強力チャックでしっかりとチャッキングして下さい。
- ②チャックテーブルを起立させ、脱着作業のメインスペースへとタイヤホイールのリフトアップを行い、さらに上側ビードローラーをセットしビードローラーとホイールのクリアランス調整を行います。
この際、クリアランスは約1 cm程度が目安となります。
- ③タイヤを回転させながら、上側ビードローラーを下降させ、上ビード落としを行います。この際、併せてビードクリーム塗布も充分に行います。さらに、下側ビードローラーを上昇させ、下ビード落としを行います。
- ④上側ビードローラーをリセットし、ツール上下低速を使用しながらマウントヘッドをホイールにセットします
タイヤレバーを使用し上ビードを起こした後、タイヤを回転させながら上ビードを取外します。
- ⑤最後に下側ビードローラーを上昇させ、タイヤを回転させながら下ビードを取外します。



(2)マウント作業

- ①まず、マウントを行うタイヤの下ビード部、上ビード部にしっかりとタイヤクリームを塗布します。
- ②マウントヘッドをホイールにセットし下ビード組込みを行い、さらに同様に上ビードを組み込みます。



7. 定期点検



危険

点検の際電機部品にふれる必要のある場合は、必ず電源を切ってください。又、元電源を入れたまま電気部品にふれる必要のあるときには、端子等にふれない様に十分注意してください。



注意

カバー等を外して点検を実施した場合は、必ず元通りにすべての取付ねじ等を使用して元に戻しておいてください。

点検の結果、異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまではリフトの使用を禁止して、直ちにお買上げの販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとリフトの破損及重大な事故につながる危険性があります。

(1) オイル交換

油圧ユニット内オイルを交換、または給油する場合は当社純正のハイドロリックオイル、または市販のタービン油(ISO. VG32 相当)を使用して下さい。



注意

オイルの交換は1回／年必ず実施して下さい。
交換時各シリンダーは一番縮んだ状態にして行って下さい。

(2) グリスアップ

各スライド部、その他可動部には適時給油して下さい。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検要領
毎 日	各 ボ ル ト ・ ナ ッ ト	緩 み	増し締め
	操 作 ス イ ッ チ	各 部 の 作 動	各動作部がスムーズに作動するか及異音がないか
毎 月	元圧用レギュレータ	調 整 圧	0.8～1.0MPa になっているか
	各スライド・回転部	円 滑 な 作 動	グリス塗布
		摩 耗 ・ 亀 裂	交換
毎 年	油 圧 ユ ニ ッ ト	作 動 油 交 換	タービン油 (ISO.VG32 相当)

8. 故障と処置

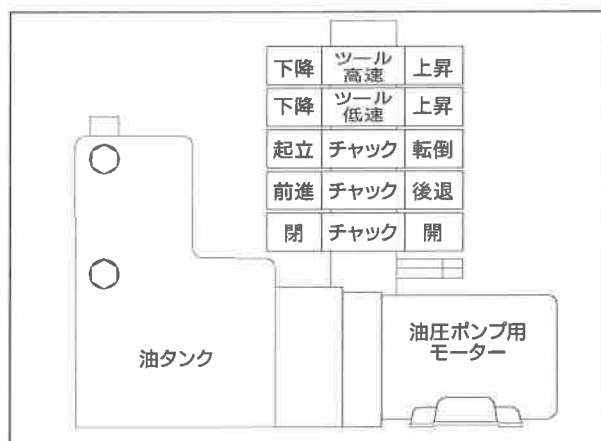


注 意

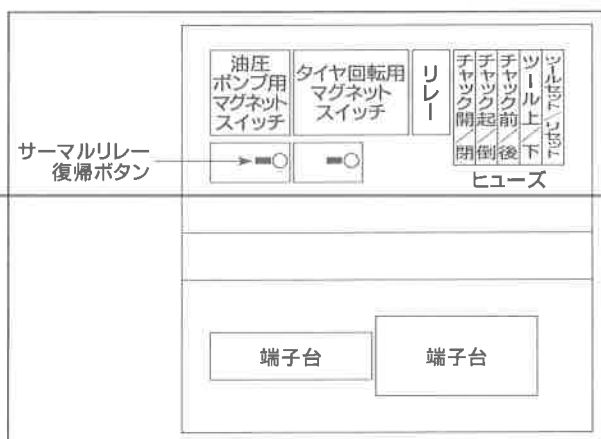
故障かなと思ったら、修理を依頼する前にもう1度確認して下さい。
異常が生じた時はこの説明書を再度よくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不調が改善されない場合はお買上げの販売会社へご連絡下さい。

症 状	原 因	処 置
全ての動作が作動しない	元ブレーカが OFF 状態またはヒューズ切れ	ブレーカ ON 又ヒューズ交換
	元ブレーカ ~ 制御ボックス間配線コードの断線又欠相	配線コードの補修
油圧ユニットが作動しない	制御ボックス内のマグネットスイッチサーマルが作動していないか	サーマル復帰ボタンを押す
	制御ボックス ~ 油圧ポンプ用モーター間配線コードの断線又欠相	配線コードの補修
各々の油圧シリンダーが作動しない	各油圧電磁弁配線の断線又電磁弁不良	配線の補修又電磁弁交換
タイヤ回転がしない	制御ボックス内のマグネットスイッチサーマルが作動していないか	サーマル復帰ボタンを押す
	制御ボックス ~ タイヤ回転モーター間配線コードの断線又欠相	配線コードの補修
上側ビードローラーの セット・リセットが作動しない	エアーが供給されていない	エアーを供給
	電磁弁配線の断線又電磁弁不良	配線の補修又電磁弁交換

各々の油圧シリンダーが作動しない場合、下図の電磁弁横にあるピン(両端にあります)を押すことにより強制的に各油圧シリンダーを伸縮することができます。



また各マグネットスイッチ(サーマル)は、制御ボックス内の下図位置に設置されています。



9.仕様

電 源	三相 AC200V.50 / 60Hz
油 圧 ポ ン プ モ ー タ ー	1.1kw
タ イ ヤ 回 転 モ ー タ ー	0.4kw
対 象 車 種	ライトトラック
適 用 リ ム 径	14"~19.5"
チャック可能ハブ穴径	110~235mm
最 大 タ イ ヤ 径	875mm
最 大 タ イ ヤ 幅	250mm
供 給 エ ア 圧 力	1MPa
本 体 重 量	約 600kg

※改良のため予告無しに仕様を変更することがあります。

10.製品保証規定

(1)保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

ただし二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証致しません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合。etc)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷



注 意

本機は屋外設置および防水使用になっておりませんので、錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしません。

(2)保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の7項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪い時は	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買い上げ販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買い上げ販売会社にご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ販売会社にお問い合わせ下さい。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせ下さい。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社 名 担当者
	住 所 電 話
設 置 業 者	社 名 担当者
	住 所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 **ダイナスター**

型 式 **TL-1800 型**

初 版 発 行 月 日	平 成 17 年 11 月 1 日
-------------	-------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-----------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

札幌営業所 ☎(011)791-8588	新潟営業所 ☎(025)281-8251
仙台営業所 ☎(022)255-7408	名古屋営業所 ☎(052)354-1021
秋田営業所 ☎(018)864-7875	大阪営業所 ☎(06)6701-7315
東京支店 ☎(03)5975-6011	福岡営業所 ☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。